



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月4日

上場会社名 株式会社 沖縄銀行

上場取引所 東 福

コード番号 8397 URL <http://www.okinawa-bank.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役頭取

(氏名) 玉城 義昭

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総合企画本部長

(氏名) 西平 典明

TEL 098-867-2141

四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日

特定取引勘定設置の有無 無

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(表示単位未満は切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	12,863	△9.9	2,237	△35.7	1,614	2.7
23年3月期第1四半期	14,284	8.0	3,484	15.9	1,571	△11.3

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 2,023百万円 (81.5%) 23年3月期第1四半期 1,114百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	77.76	77.70
23年3月期第1四半期	75.09	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	1,834,551	115,094	6.0
23年3月期	1,743,642	114,250	6.3

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 111,824百万円 23年3月期 111,055百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権－期末少数株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	32.50	—	32.50	65.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	32.50	—	32.50	65.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	24,500	△11.1	4,300	△31.2	2,500	△24.0	120.80
通期	48,900	△9.8	9,500	△15.2	5,400	△7.4	261.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料P.2「2. サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	21,400,000 株	23年3月期	21,400,000 株
24年3月期1Q	770,596 株	23年3月期	623,977 株
24年3月期1Q	20,761,136 株	23年3月期1Q	20,927,265 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○ 添付資料の目次

	頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	2
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(2) 追加情報	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 継続企業の前提に関する注記	6
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	6
(5) (参考) 四半期信託財産残高表	6
4. 補足情報	7
(1) 平成24年3月期第1四半期損益の概況【単体】	7
(2) 預金等、貸出金の残高【単体】	8
(3) 金融再生法ベースのカテゴリーによる開示【単体・連結】	9
(4) 自己資本比率（国内基準）【単体・連結】	9
(5) 有価証券の評価差額【連結】	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

経常収益は、国債等債券売却益及び株式等売却益の減少に加え、貸出金利息及び有価証券利息配当金が減少したことにより、前年同四半期連結累計期間比14億21百万円減少の128億63百万円となりました。

一方、経常費用は、株式等売却損及び与信関連費用が減少したことから、前年同四半期連結累計期間比1億74百万円減少の106億25百万円となりました。

この結果、経常利益は前年同四半期連結累計期間比12億46百万円減少の22億37百万円となりました。また、四半期純利益は法人税等の減少により、前年同四半期連結累計期間比43百万円増加の16億14百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

総資産は前連結会計年度末比909億円増加の1兆8,345億円、純資産は前連結会計年度末比8億円増加の1,150億円となりました。

主要な勘定の残高につきましては、預金は、キャンペーン推進による個人預金の増強に努めたほか、公金預金の増加により、銀行・信託勘定合計で前連結会計年度末比913億円増加の1兆6,743億円となりました。

貸出金は、季節的要因により法人向け貸出が減少したことから、銀行・信託勘定合計で前連結会計年度末比297億円減少の1兆1,117億円となりました。

有価証券は、国債、地方債等公共債を中心に資金の効率的運用と安定収益の確保に努めた結果、前連結会計年度末比699億円増加の5,158億円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の連結業績予想につきましては、平成23年5月13日に公表した数値から変更ありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の処理

一部の連結子会社の税金費用は、税引前四半期純利益に前年度の損益計算書における税効果会計適用後の法人税等負担率を乗じることにより算定しております。

(2) 追加情報

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正から、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日）を適用しております。

なお、「金融商品会計に関する実務指針」（日本公認会計士協会会計制度委員会報告第14号）に基づき、当第1四半期連結累計期間の「償却債権取立益」及び「信託元本補填引当金戻入益」は、「その他経常収益」に計上しておりますが、前第1四半期連結累計期間については遡及処理を行っておりません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
現金預け金	37,648	35,752
コールローン及び買入手形	68,983	121,035
買入金銭債権	223	238
有価証券	445,893	515,804
貸出金	1,133,325	1,104,088
外国為替	2,824	3,220
リース債権及びリース投資資産	17,166	16,660
その他資産	15,158	16,437
有形固定資産	18,399	18,155
無形固定資産	1,231	1,153
繰延税金資産	4,365	4,235
支払承諾見返	11,940	11,517
貸倒引当金	△13,518	△13,748
資産の部合計	1,743,642	1,834,551
負債の部		
預金	1,529,833	1,621,920
借入金	13,775	13,906
外国為替	60	8
信託勘定借	45,063	44,864
その他負債	20,141	19,293
賞与引当金	688	174
役員賞与引当金	29	6
退職給付引当金	5,772	5,732
役員退職慰労引当金	27	15
信託元本補填引当金	153	117
利息返還損失引当金	171	166
睡眠預金払戻損失引当金	54	54
繰延税金負債	—	0
再評価に係る繰延税金負債	1,679	1,679
支払承諾	11,940	11,517
負債の部合計	1,629,391	1,719,457
純資産の部		
資本金	22,725	22,725
資本剰余金	17,629	17,629
利益剰余金	68,719	69,655
自己株式	△2,196	△2,682
株主資本合計	106,878	107,328
その他有価証券評価差額金	3,224	3,554
繰延ヘッジ損益	10	△0
土地再評価差額金	942	941
その他の包括利益累計額合計	4,177	4,495
新株予約権	43	33
少数株主持分	3,151	3,236
純資産の部合計	114,250	115,094
負債及び純資産の部合計	1,743,642	1,834,551

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
経常収益	14,284	12,863
資金運用収益	8,197	7,970
(うち貸出金利息)	7,120	7,014
(うち有価証券利息配当金)	1,020	894
信託報酬	92	110
役務取引等収益	954	958
その他業務収益	4,607	3,674
その他経常収益	432	150
経常費用	10,800	10,625
資金調達費用	1,163	1,388
(うち預金利息)	1,030	1,189
役務取引等費用	357	384
その他業務費用	2,687	2,809
営業経費	5,166	5,278
その他経常費用	1,425	765
経常利益	3,484	2,237
特別利益	43	—
固定資産処分益	0	—
償却債権取立益	42	—
特別損失	226	2
固定資産処分損	3	1
減損損失	0	0
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	221	—
税金等調整前四半期純利益	3,300	2,235
法人税、住民税及び事業税	1,467	607
法人税等調整額	156	△77
法人税等合計	1,623	529
少数株主損益調整前四半期純利益	1,677	1,705
少数株主利益	105	91
四半期純利益	1,571	1,614

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,677	1,705
その他の包括利益	△562	318
その他有価証券評価差額金	△561	329
繰延ヘッジ損益	△1	△11
土地再評価差額金	—	△0
四半期包括利益	1,114	2,023
親会社株主に係る四半期包括利益	1,009	1,932
少数株主に係る四半期包括利益	105	90

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項なし

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

平成23年5月13日開催の取締役会における自己株式の取得決議（取得株式数上限15万株、取得価格総額上限600百万円、取得期間平成23年5月16日から平成23年6月21日まで）に基づき、当第1四半期連結累計期間において、市場から自己株式（15万株、498百万円）を取得しました。

上記の事由を主因として、当第1四半期連結会計期間末の自己株式の残高は、前連結会計年度末比486百万円増加の2,682百万円となっております。

(5) (参考) 四半期信託財産残高表

資産				
科目	前連結会計年度 (平成23年3月31日)		当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
貸出金	8,152	15.32	7,648	14.56
その他債権	6	0.01	7	0.01
銀行勘定貸	45,063	84.67	44,864	85.43
合計	53,223	100.00	52,519	100.00

負債				
科目	前連結会計年度 (平成23年3月31日)		当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
金銭信託	53,223	100.00	52,519	100.00
合計	53,223	100.00	52,519	100.00

4. 補足情報

(1) 平成24年3月期第1四半期損益の概況【単体】

当第1四半期の業務純益は、国債等債券関係損益及び資金利益が減少したことにより、前年同期比15億41百万円減少の23億79百万円となりました。また、本業の収益力を示すコア業務純益は資金利益が減少したことなどから、前年同期比5億48百万円減少の20億62百万円となりました。

経常利益は業務純益の減少に伴い、前年同期比14億84百万円減少の16億50百万円となりました。また、四半期純利益は、前年同期比64百万円減少の14億70百万円となりました。

(単位:百万円)

科 目	平成24年3月期 第1四半期 (3ヶ月)	前年同期比	平成23年3月期 第1四半期 (3ヶ月)	平成24年3月期 第2四半期業績予想 (6ヶ月)
業務粗利益 (除く国債等債券関係損益(5勘定戻))	7,176 (6,932)	△1,493 (△453)	8,670 (7,386)	
資金利益	6,394	△446	6,841	
役員取引等利益	488	△0	489	
その他業務利益	293	△1,046	1,339	
経費(除く臨時処理分)	4,888	113	4,774	
人件費	2,343	74	2,268	
物件費	2,118	41	2,077	
税金	426	△2	428	
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	2,287	△1,607	3,895	
コア業務純益	2,062	△548	2,611	4,600
一般貸倒引当金繰入額	△92	△66	△25	
業務純益	2,379	△1,541	3,921	4,600
うち国債等債券関係損益(5勘定戻)	243	△1,040	1,284	
臨時損益	△729	56	△786	
うち株式等関係損益(3勘定戻)	△223	△40	△183	
うち不良債権処理額	482 (501)	31 (50)	450 (450)	
個別貸倒引当金繰入額	512	75	437	
貸出金償却	6 (25)	△0 (18)	7 (7)	
信託元本補填引当金繰入額	△36	△42	6	
うち償却債権取立益	37	37	-	
経常利益	1,650	△1,484	3,135	3,900
特別損益	△1	193	△194	
うち固定資産処分損益	△1	1	△2	
うち償却債権取立益	-	△30	30	
うち資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	△221	221	
税引前四半期純利益	1,648	△1,291	2,940	
法人税、住民税及び事業税	397	△838	1,235	
法人税等調整額	△219	△388	169	
四半期純利益	1,470	△64	1,535	2,300

(注) 1. 不良債権処理額の()書きは信託勘定を含んでおります。

2. コア業務純益=業務純益+一般貸倒引当金繰入額-国債等債券関係損益(5勘定戻)+信託勘定不良債権処理額

(2) 預金等、貸出金の残高【単体】

① 預金等

当第1四半期末の預金残高は、前年同期比1,582億円増加の1兆6,844億円となりました。

		(単位：億円)
		平成23年6月末
預金		16,844
	うち 個人預金	10,575
預金(平残)		16,275

(注) 信託勘定を含んでおります。

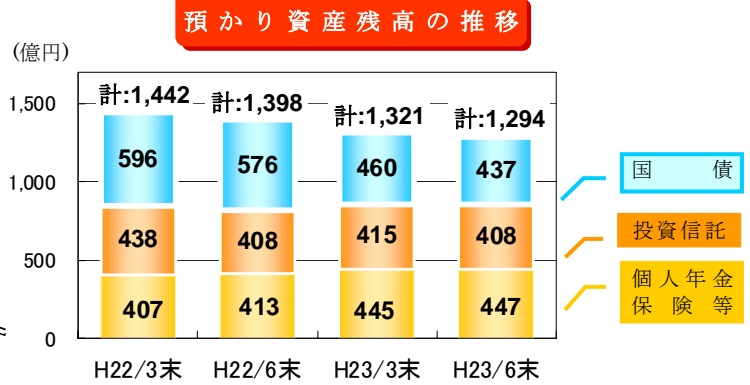
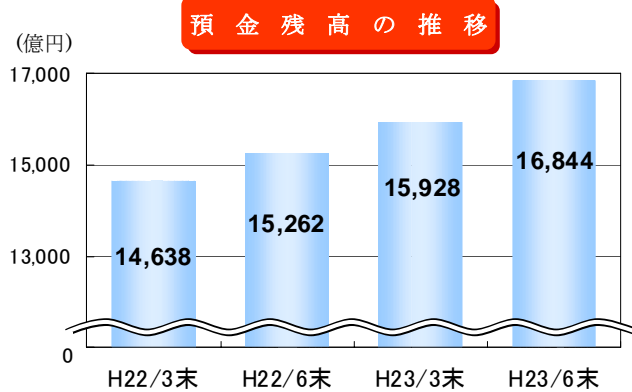
		(参考)	(単位：億円)
		平成22年6月末	平成23年3月末
		15,262	15,928
		9,502	10,163
		14,785	15,123

[預金を除く預かり資産残高]

		(単位：億円)
		平成23年6月末
預かり資産		1,294
	国債	437
	投資信託	408
	個人年金保険等	447

《預かり資産》お客様の資産運用商品を総称して、「預かり資産」と呼んでいます。

		(参考)	(単位：億円)
		平成22年6月末	平成23年3月末
		1,398	1,321
		576	460
		408	415
		413	445



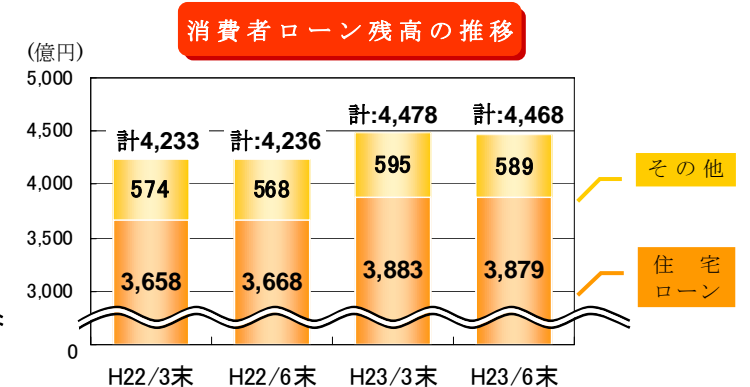
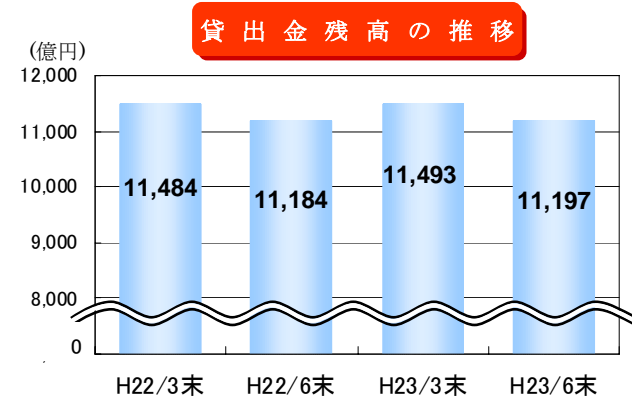
② 貸出金

当第1四半期末の貸出金残高は、前年同期比13億円増加の1兆1,197億円となりました。

		(単位：億円)
		平成23年6月末
貸出金		11,197
	うち 消費者ローン	4,468
	うち 住宅ローン	3,879
貸出金(平残)		11,153

(注) 信託勘定を含んでおります。

		(参考)	(単位：億円)
		平成22年6月末	平成23年3月末
		11,184	11,493
		4,236	4,478
		3,668	3,883
		11,103	11,092



(3) 金融再生法ベースの 카테고리による開示

当第1四半期末における金融再生法ベースの開示債権は、取引先の経営改善による債務者区分のランクアップ等に努めた結果、総額で前年同期比26億円減少の204億円となり、開示債権比率は0.23ポイント低下の1.80%となりました。

【単体】

(単位：億円)

	平成23年6月末	平成22年6月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	111	105
危険債権	77	103
要管理債権	15	22
合計	204 (1.80%)	231 (2.03%)

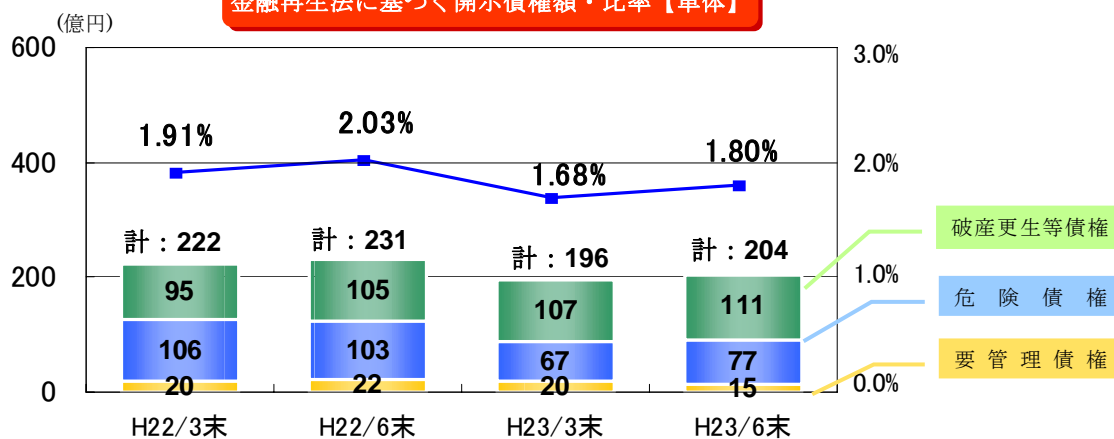
(参考)

(単位：億円)

	平成23年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	107
危険債権	67
要管理債権	20
合計	196 (1.68%)

(注) 信託勘定を含んでおります。

金融再生法に基づく開示債権額・比率【単体】



【連結】

(単位：億円)

	平成23年6月末	平成22年6月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	120	115
危険債権	78	104
要管理債権	15	22
合計	214 (1.90%)	242 (2.15%)

(参考)

(単位：億円)

	平成23年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	118
危険債権	68
要管理債権	20
合計	207 (1.79%)

(注) 信託勘定を含んでおります。

(4) 自己資本比率 (国内基準)

【単体】

	平成23年9月末 (予想値)
単体自己資本比率	12% 台
単体Tier I 比率	12% 台

(参考)

	平成23年3月末 (実績)
単体自己資本比率	12.73%
単体Tier I 比率	12.23%

【連結】

	平成23年9月末 (予想値)
連結自己資本比率	13% 台
連結Tier I 比率	12% 台

(参考)

	平成23年3月末 (実績)
連結自己資本比率	13.24%
連結Tier I 比率	12.65%

(注) 上記予想値は、経営環境に関する前提条件の変化等に伴い変動することがあります。

(5) 有価証券の評価差額【連結】

時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は含めておりません。

	平成23年6月末				平成22年6月末				(参考) 平成23年3月末			
	帳簿 価額	含み損益			帳簿 価額	含み損益			帳簿 価額	含み損益		
		うち益	うち損			うち益	うち損			うち益	うち損	
満期保有目的の債券	120	2	2	0	173	3	3	0	144	2	2	0
債券	110	2	2	—	153	3	3	—	134	2	2	—
その他(外国債券)	10	△0	—	0	20	△0	—	0	10	△0	—	0

	平成23年6月末				平成22年6月末				(参考) 平成23年3月末			
	時価	評価差額			時価	評価差額			時価	評価差額		
		うち益	うち損			うち益	うち損			うち益	うち損	
その他有価証券	5,014	59	81	22	4,003	71	99	27	4,291	53	81	27
株式	159	3	20	17	178	4	28	23	168	6	23	16
債券	4,582	55	57	2	3,674	68	68	0	3,921	49	56	7
その他	272	0	2	2	150	△1	2	3	201	△2	1	3
うち外国債券	237	2	2	0	120	2	2	—	170	△0	1	1

(注) 1. 各四半期末の「含み損益」及び「評価差額」は、各四半期末の帳簿価額(償却原価法適用後、減損処理後。)と時価との差額を計上しております。

2. その他有価証券評価差額の推移につきましては以下のとおりです。

その他有価証券評価差額【連結】

